

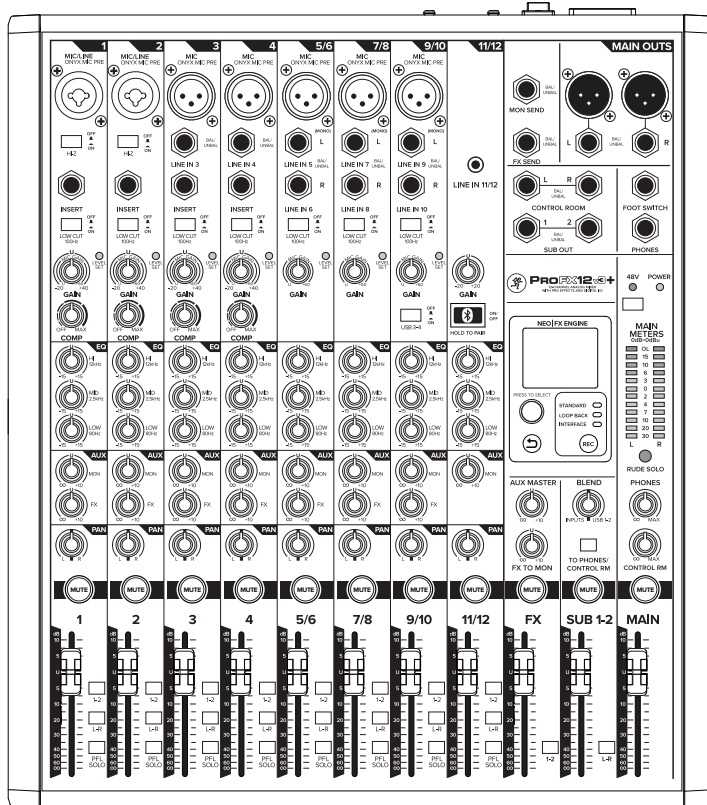
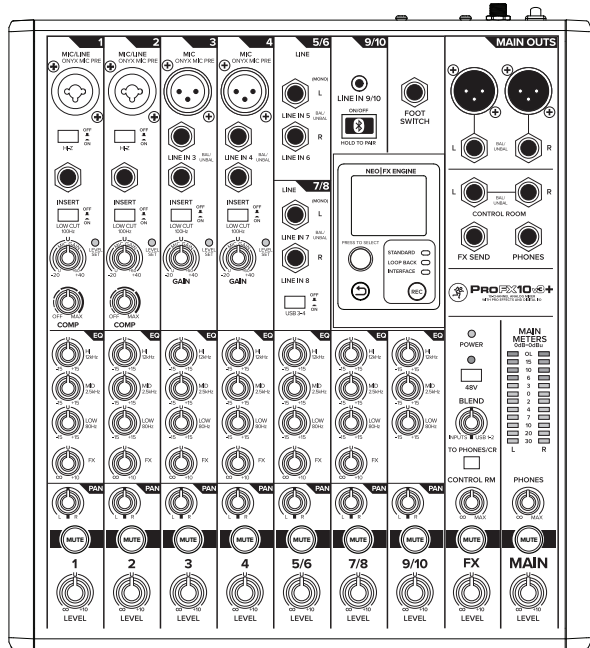
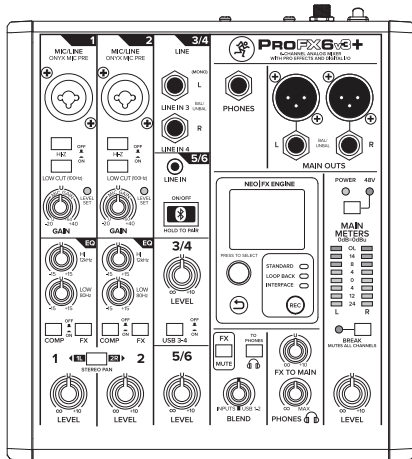


# PROFXv3+ SERIES

ProFX6v3 • ProFX10v3 • ProFX12v3

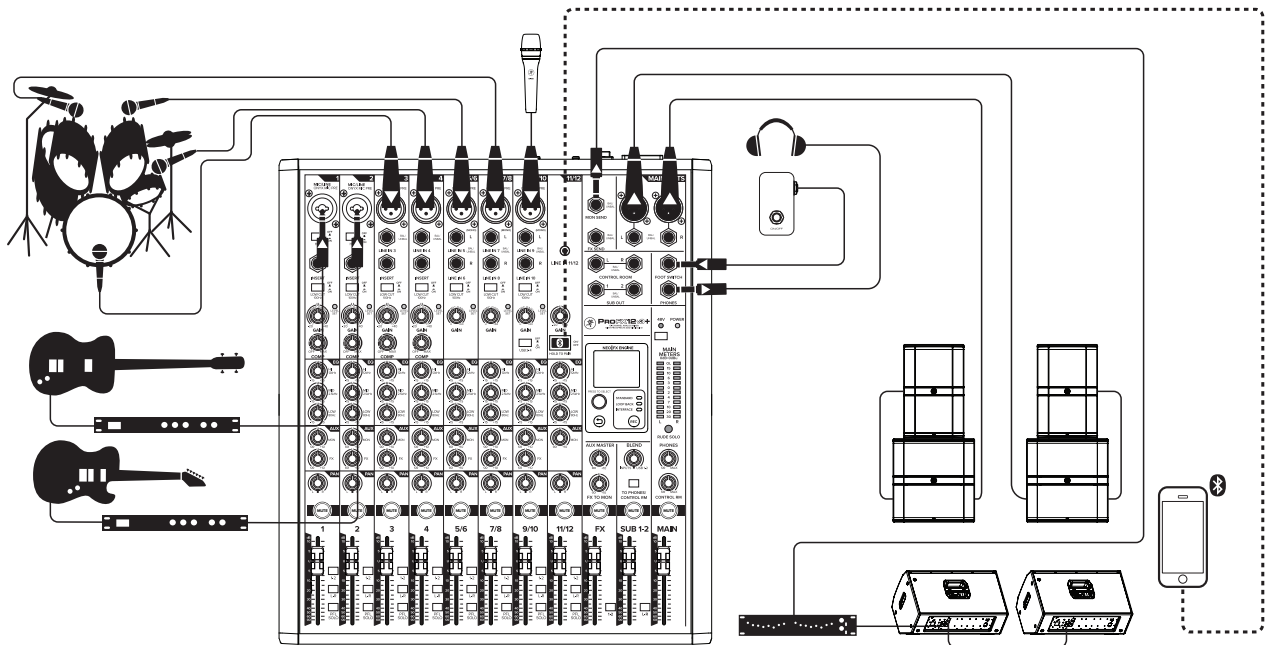
Analog Mixers with Enhanced FX, USB Recording Modes and Bluetooth

## 日本語クイックスタートガイド



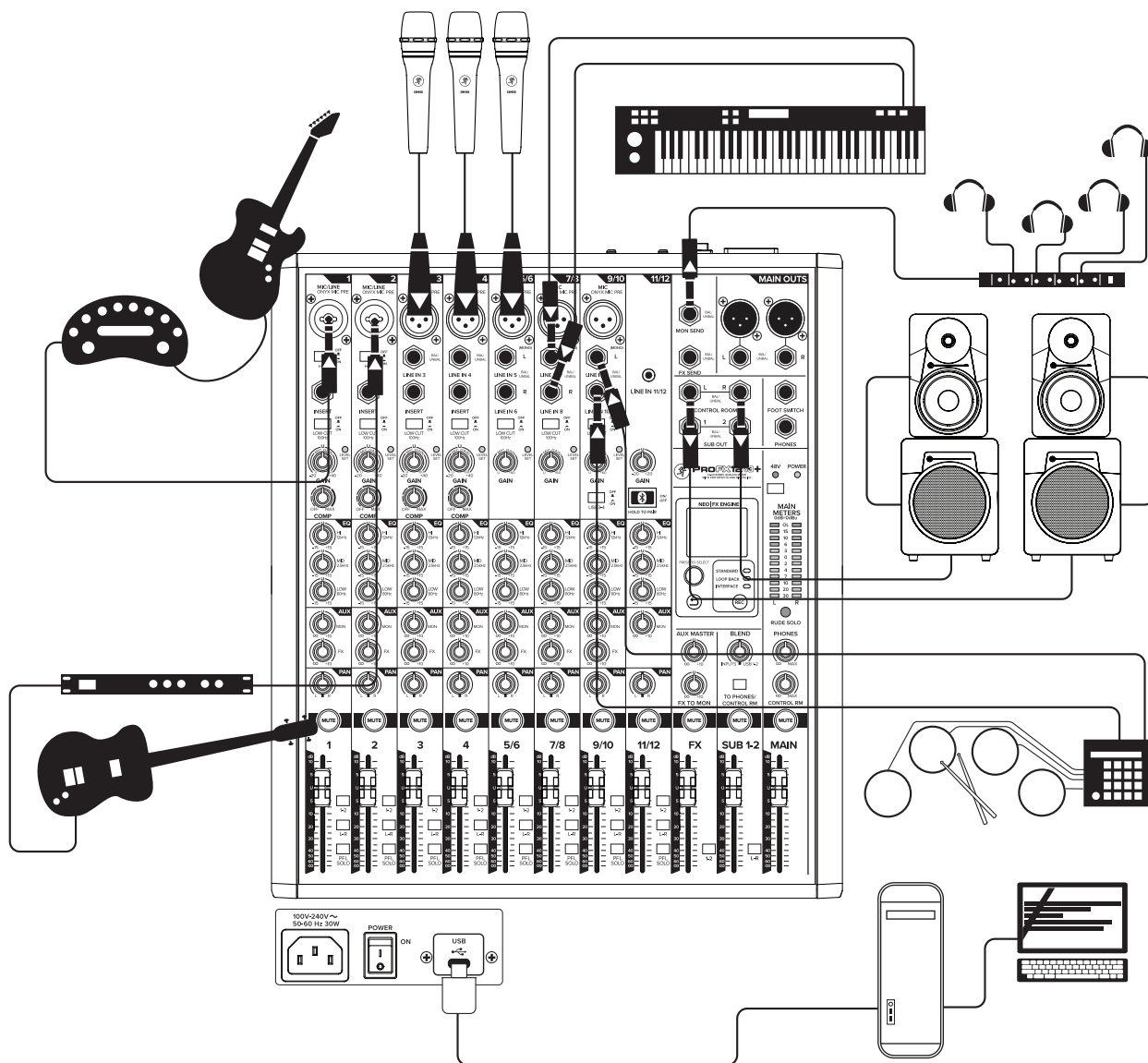
# 接続図

## ライブ



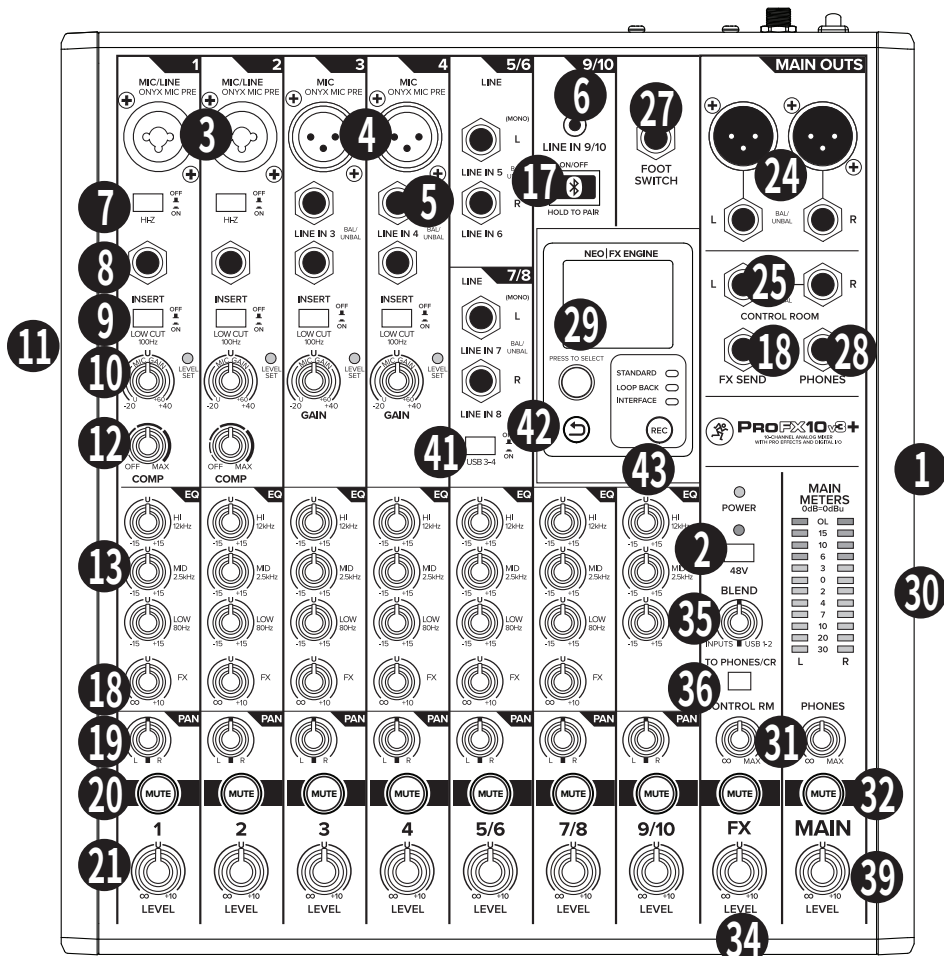
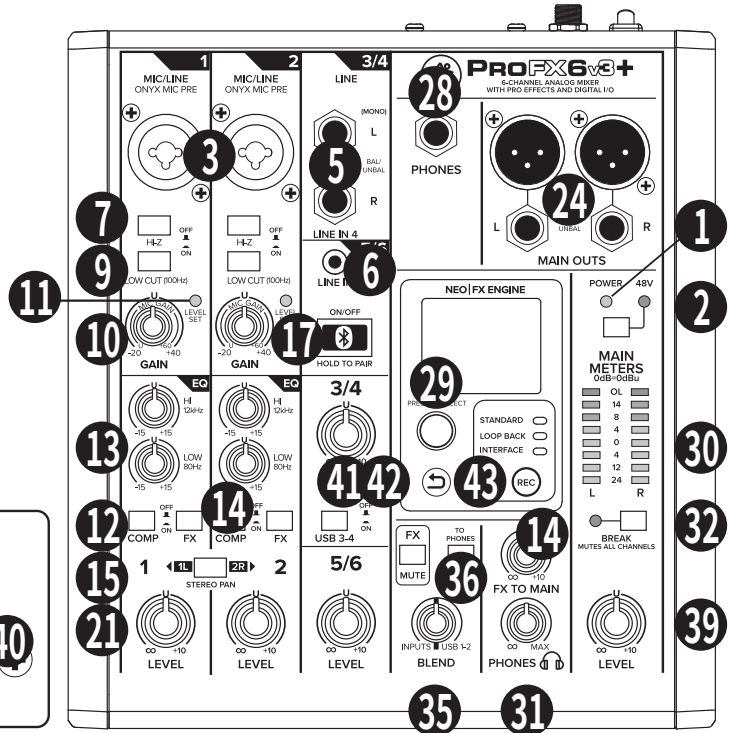
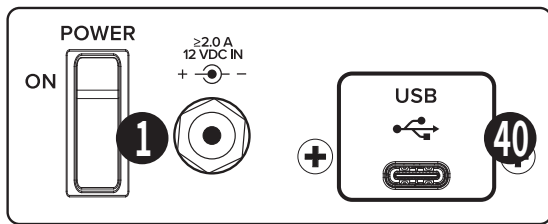
# 接続図

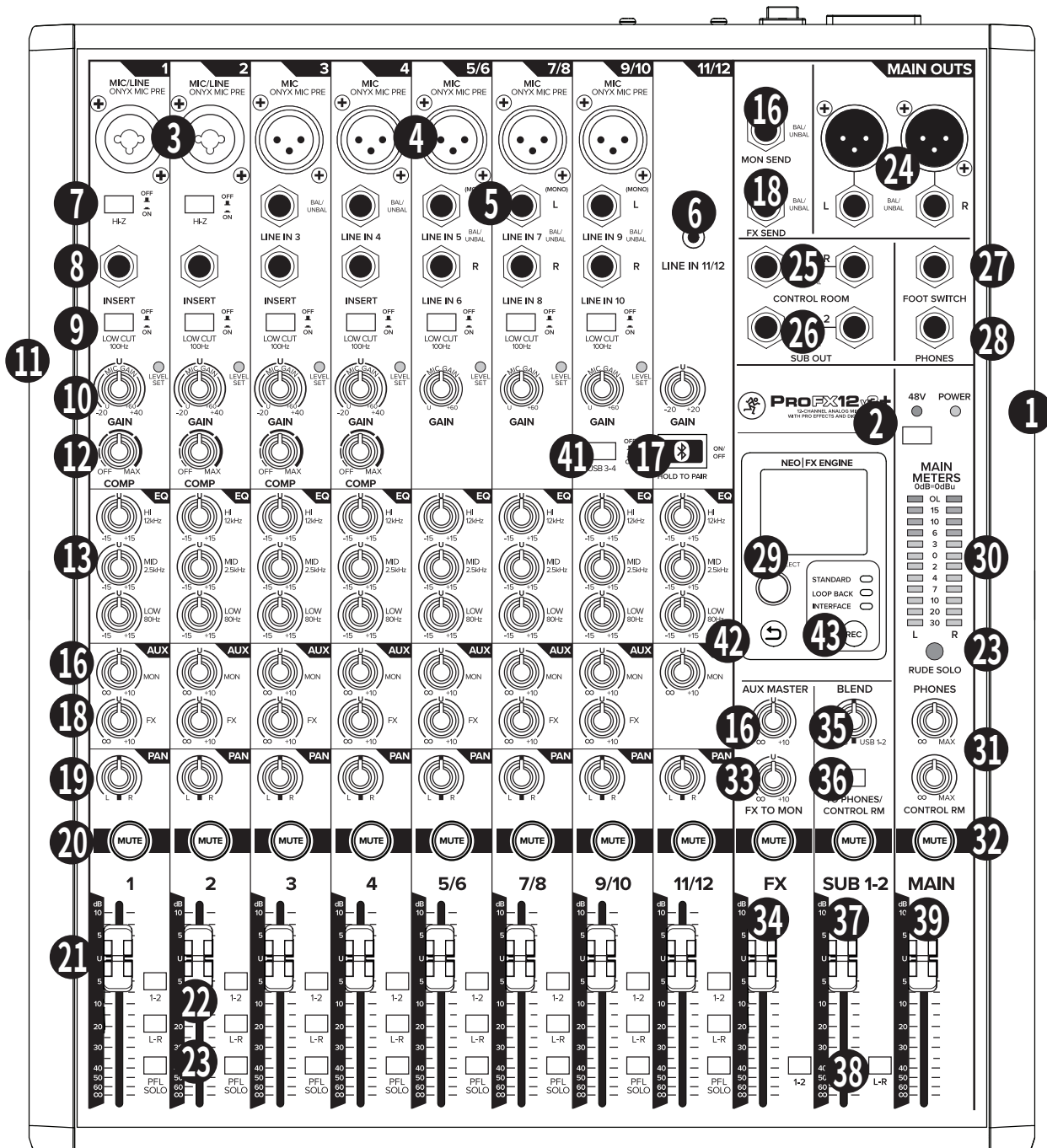
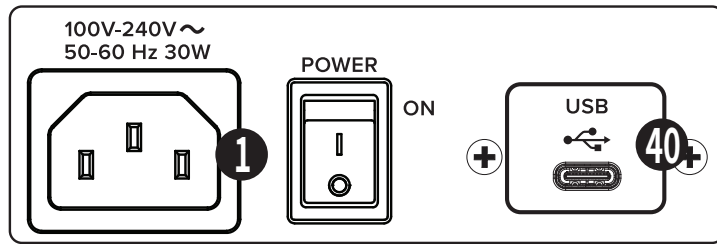
## レコーディングの場合



# ProFXv3+ 前面 & 背面

## ProFX6v3+ & ProFX10v3+





## 背面パネル / 前面パネル 各部の名称と機能

### 1. AC IN 端子 & 電源スイッチ

付属の電源コードを使い、本体を電源と接続します。電源スイッチでミキサーのオン / オフを切り替えます。電源がオンの時に LED ランプが点灯します。

### 2. 48V ファンタム電源スイッチ

スイッチを押すと、XLR 端子に 48V ファンタム電源 を供給します。ファンタム電源がオンの時に LED ランプが点灯します。

### 3. コンボ入力端子

XLR ケーブルもしくはフォンケーブルを使い、マイクや楽器と接続します。バランス / アンバランス信号に対応します。

### 4. XLR 入力端子

XLR ケーブルを使い、マイクやラインレベルの信号と接続します。

### 5. ライン入力端子

フォンケーブルを使い、ラインレベルの信号と接続します。バランス / アンバランス 信号に対応します。

### 6. ステレオミニ入力端子

ステレオミニケーブルを使い、スマートフォンや MP3 プレイヤーなどのデバイスと接続し、ラインレベルの信号を入力します。

### 7. Line / Hi-Z スイッチ

CH1-2 に DI (ダイレクトボックス) を使わず直接ギターを接続し演奏するときに、このボタンを押します。

### 8. INSERT 端子

ステレオミニ Y ケーブルを使い、コンプレッサーやゲートなどのエフェクトプロセッサと接続します。

### 9. LOW CUT (低域カット) スイッチ

100 Hz 以下 (18dB/oct) の低域周波数帯をカットします。

### 10. GAIN ノブ

マイクやライン信号の入力感度を調整します。

### 11. LEVEL SET LED

信号が入力されている時、LED が緑に点灯します。

### 12. COMP ノブ

入力信号のダイナミックレンジを抑えます。

### 13. EQ ノブ

LOW (低域) / MID (中域) / HI (高域) のそれぞれの周波数帯域を減衰または増幅します。

### 14. FX スイッチ & ノブ

スイッチを押すと、選択したチャンネルの音を内蔵エフェクトプロセッサに送ります。ノブで選択したチャンネルのエフェクトレベルを調整します。

### 15. PAN アサインスイッチ

スイッチを押すと、CH1 を L に、CH2 を R に定位します。

### 16. AUX MON (モニター) & MON SEND & AUX マスター

MON SEND 端子を経由して、ステージモニターに信号を送ります。各チャンネルのレベルを調整するノブと、全チャンネルのレベルを調整するマスターノブがあります。

### 17. Bluetooth オン / オフ & ペアリングスイッチ

ボタンを押して Bluetooth のオン / オフを切り替えます。長押しで Bluetooth デバイスとのペアリングができます。Bluetooth 接続は、静電気などによって切断されることがあります。その場合には、手動で再度ペアリングをしてください。

### 18. AUX FX (エフェクト) & FX SEND & マスター

AUX SEND 端子を経由して、内蔵エフェクトまたは外部エフェクトに信号を送ります。各チャンネルのレベルを調整するノブと、全チャンネルのレベルを調整して内蔵 / 外部エフェクトに送るノブがあります。

### 19. PAN ノブ

左右にノブを回し、定位を調整します。

### 20. MUTE ボタン

チャンネルの信号をミュートします。ミュートがかかっている時にはスイッチが点灯します。

### 21. チャンネルフェーダー

メインミックスへ送る各信号レベルを調整します。

### 22. アサインスイッチ

信号の送り先 (SUB 1-2 出力 / L-R メイン出力) を設定します。

### 23. PFL SOLO スイッチ

選択したチャンネルの信号だけを聞くことができます。複数のチャンネルを選択することも可能です。スイッチがオンのときは、LED が派手に光ります！

### 24. MAIN OUTS (メイン出力) 端子 L/R

パワーアンプやパワードスピーカー、またはエフェクトプロセッサと接続します。

### 25. CONTROL ROOM (コントロールルーム) 端子 L/R

コントロールルームアンプやスタジオモニター、またはヘッドフォンアンプに信号を送ります。

### 26. SUB OUT 端子 1/2

マルチトラックデッキの入力や、複雑な配置でのセカンダリーパワーアンプに信号を送ります。

### 27. FOOT SWITCH 端子

フットスイッチと接続すると、内蔵エフェクトの オン / オフ を切り替えられます。

### 28. PHONES (ヘッドフォン) 端子

ステレオヘッドフォンと接続します。

### 29. GIGFX+ プリセットセレクター & ディスプレイ

プリセットセレクターのノブを回してエフェクトを選択します。ディスプレイには選択されたプリセットエフェクトの番号が表示されます。

### 30. メインメーター

SOLO スイッチがオンになった入力レベルや、出力レベルを測定し、信号がクリッピングしていないか確認できます。

### 31. CONTROL RM / PHONES (ヘッドフォン) ノブ

コントロールルームとヘッドフォンのレベルを調整します。

### 32. ブレークスイッチ & LED

USB 入力を除いた、その他全チャンネルの入力をミュートします。USB 入力はメイン出力より出力されます。

### 33. 内蔵エフェクトルーティング&エフェクトアサインスイッチ

エフェクトの出力をモニター、サブアウト、およびメインにそれぞれルーティングします。また選択されたサブアウトにエフェクトを割り当てます。

### 34. FX (エフェクト) リターンフェーダー

メインミックスへ送る、内部エフェクトプロセッサからのステレオ出力レベルを調整します。

### 35. BLEND ノブ

全チャンネル入力 (左, ステレオミニフォン入力を除く) と USB 1-2 リターン (右) のレベルを調整します。

### 36. TO PHONES / CONTROL ROOM スイッチ

スイッチを押すと、入力と USB 1-2 のブレンドされた信号を CONTROL ROOM 端子 とヘッドフォンの出力に送ります。この場合、メインミックスはミュートされます。

### 37. SUB 1-2 (サブ) フェーダー

SUB OUT 端子に送られる信号レベルを調整します。

### 38. L-R サブアサインスイッチ

スイッチを押すことで、SUB チャンネルグループをメインの出力に送ります。

### 39. MAIN ミックスフェーダー

MAIN OUTS 端子に送られる信号のレベルを調整します。

### 40. USB インターフェース

PC と接続し、2 × 4 のオーディオインターフェース機能を使用できます。

### 41. USB 3/4 スイッチ

スイッチを押すと、ステレオライン入力がミュートされ、代わりに PC から USB リターンオーディオをチャンネルに入力できます。

### 42. バックボタン

前の画面に戻るときにこのボタンを押します。

### 43. REC ボタン

REC ボタンを押すと、録音モードに切り替わります。

## 使い方

1. EQ および PAN 以外のすべてのノブとフェーダーを下げます。
2. EQ のノブを中央に合わせます（カチッと止まる場所があります）。
3. 全ての電源をオフにします。
4. メイン出力端子とパワードスピーカーを接続します  
（またはパッシブスピーカーと接続したアンプ）
5. 本体に電源コードをしっかりと差し込み、電源と接続します。
6. 本体の電源をオンにします。
7. パワードスピーカー（またはアンプ）の電源をオンにします。
8. 本体に音源を接続します。例えば ...
  - ➡ マイク入力端子にマイクを接続（ファンタム電源も利用できます）
  - ➡ ライン入力端子にキーボードやドラムマシンなどの音源を接続
  - ➡ Bluetooth 経由でスマートフォンを接続
9. 入力の音量は、通常の使用時と同程度にします。
10. (ProFX12v3+ の場合) チャンネルの L-R 割り当てスイッチをオンにし、フェーダーを「U」（ユニティゲイン）に合わせます。
11. MAIN フェーダーをゆっくりと上げ、快適なレベルに調整します。
12. 他のチャンネルについても、8～10 の手順を繰り返します。

## さらに…

実はこのガイドでは紹介しきれない機能もたくさんあるんです…。  
完全版のマニュアルは、Mackie 公式サイトからダウンロードが可能です。  
ぜひご確認を！



	ProFX6v3 • ProFX10v3 • ProFX12v3
ノイズ特性	<p>マイク入力からインサートセンド出力（最大ゲイン時）ノイズレベル：-126 dBu</p> <p>残留出力ノイズ：全ての出力、マスターレベルおよびチャンネルレベルが OFF 時：-95 dBu</p> <p>全ての出力、マスターレベルがユニティ（最大）、かつ Ch.1 レベルもユニティ（最大）時ノイズレベル：-80 dBu</p>
周波数応答	<p>マイク入力から全出力（ゲインがユニティの場合）： ：+0、-1 dB、20 Hz - 30 kHz</p>
歪み（THD+N）	<p>マイク入力からメイン出力 (22 Hz - 80 kHz): &lt;0.01% @ +4 dBu 出力</p> <p>マイク入力からメイン出力 (22 Hz - 80 kHz) : +4 dBu 出力時 &lt;0.02%</p>
減衰とクロストーク	<p>隣接する入力 @ 1 kHz: -90 dB</p> <p>入力から出力 @ 1 kHz: -80 dB</p> <p>フェーダー OFF 時 @ 1 kHz: -75 dB</p> <p>ミュート / ブレイクスイッチ ミュート時 @ 1 kHz: -90 dB</p>
最大レベル	<p>全入力 : +22 dBu</p> <p>メインミックス XLR: +28 dBu</p> <p>その他すべての出力 : +22 dBu</p>
USB	<p>フォーマット : USB 2.0, 1 ステレオ入力 / 2 ステレオ出力</p> <p>A/D/A: 24 bit, 44.1 kHz, 48 kHz, 96kHz, 192kHz</p>
駆動時温度	0-40° C
電源供給	<p>(ProFX6v3 • ProFX10v3) Output: 12V 2A</p> <p>Input: 100VAC-240VAC, 50-60 Hz, 0.8A</p> <p>(ProFX12v3) 100VAC-240VAC, 50-60 Hz</p>
サイズ (H × W × D) & 重量	<p>(ProFX6v3) 74 × 191 × 213 mm 1.2 kg</p> <p>(ProFX10v3) 84 × 272 × 302 mm 2.2 kg</p> <p>(ProFX12v3) 102 × 330 × 376 mm 3.6 kg</p>

~ MEMO ~

~ MEMO ~

